

はらえ ことば
祓 詞

か かしこ いぎ なぎのおおかみ
掛けまくも畏き伊邪那岐大神

つくし ひむか たちばな おど あわぎはら
筑紫の日向の橘の小戸の阿波岐原に

みそぎはらえたまい とぎ な ま はらえど おおかみたち
御禊祓へ給ひし時に生り坐せる祓戸の大神等

もろもろ まがごとつみけがれ ん
諸諸の禍事罪穢あらむをば

はらえたまいきよ たまえ もう こと きこしめ
祓へ給ひ清め給へと白す事を聞食せと

かしこ かしこ もう
恐み恐みも白す

現代語訳 (翻訳)

一行目

言葉に出して申し上げますことも恐れ多い（皇室のご祖先で伊邪那美大神様と共に日本の国土をお造りになられた）伊邪那岐大神様が

二行目

筑紫の日向の橘の小戸の阿波岐原で

三行目

禊祓いをなされた時に お生まれになった祓戸の大神様方

四行目

様々な災難・罪・穢れがございましたら

五行目

祓いお清めくださいますようにお聞き届けくださいませと

六行目

恐れ謹んで申し上げます